

巣箱づくりと野鳥の観察

4月27日（水）に、巣箱づくりと野鳥の観察を酒田市宮海の西荒瀬保育園園児と保護者が行いました。

当日は朝から小雨が降る生憎の天気でしたが、西荒瀬公民館のホールは園児の皆さんの元気いっぱい明るさが充満し晴天そのものでした。本日の参加者は、年長組園児19名、保護者3名、先生4名、山形県庄内総合支庁森林整備課2名、庄内森林管理署1名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター5名の総勢34名で、巣箱づくりにチャレンジしました。

巣箱づくりを始める前に当センター職員から、カラ用及びキツツキ用の二種類の巣箱づくりについて注意点などの説明がありました。園児が三人ずつの六班に分かれて、それぞれの班に、保護者、先生、スタッフも仲間入りして、賑やかに巣箱づくりを行いました。園児たちの中には、釘打ちの経験者も数人いましたが、ほとんどの人が初めての体験となりました。釘打ち作業では、力あまって釘が負けてしまい、曲がるものが多くありましたが、そこは、経験豊富なスタッフの巧みな誘導により、どの班も見事な巣箱が完成しました。中には、他の班の巣箱の出来映えを偵察する園児もいて、お互いの頑張りを喜び合っていました。

次に、作成した巣箱に園児一人一人がマジックで絵を描いて、小鳥のおうちに彩りを付けてくれました。こんな素晴らしい家に住める小鳥は幸せものかもしれません。

野鳥の観察では、当センター青山所長がこの時期に見られる野鳥（シジュウカラ、カワラヒワ、アカゲラ、アオサギなど）についてイラストや鳴き声などを交えて説明し、園児たちから鋭い質問を浴びていました。

最後に、参加者全員が一生懸命に作成した巣箱を園児といっしょに記念撮影を行いました。

その後、スタッフが窓から見えるクロマツに巣箱を掛け全作業が終了しました。
小鳥さん、是非、新しいおうちを探しにしんちゃんの森においで下さい。



朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター